

期間 令和6年度 （ 令和6年10月1日 ～ 令和7年9月30日 ）

採用した労働者に占める女性労働者の割合

		正社員	非正規社員	全体
女性の採用者数（人）	A	1	13	14
採用者数（人）	B	6	17	23
採用者に占める女性労働者の割合	A/B	16.6%	70.5%	60.8%

男女の平均勤続年数

男女の平均勤続年数	正社員	非正規
女性の平均勤続年数	11年5カ月	14年6カ月
男性の平均勤続年数	14年2カ月	6年2カ月
差異	▲2年9カ月	8年4カ月

男女の賃金の差異

正規	82.8%
非正規	95.6%
全体（男女別）	88.3%

（注釈・説明）

職種の非正規女性従業員の採用率が高いのは変わらないが、生活環境の変化により早期に退職する女性従業員も多く、平均勤続年数は男性に比べて伸び悩みがある。また、近年では、従業員の高齢化にともない、勤務歴の長い非正規女性従業員が退職する事も多く、平均勤続年数の差を大きくしていると考えられる。

男女の賃金の差異については、正社員の場合、男性の人数が多いこと、また、役職者が男性にかたよっているための差異である。将来的に役職者にすべく、女性従業員へ資格取得の機会等はもうけているので、長期的な計画で差異縮小を目指す。

非正規従業員に関しては、退職後、雇用形態を変えて採用された男性社員の人数が多く、賃金も高いため、差異が生じていると思われる。経験値、勤務歴が同じような非正規従業員と比べた場合、男女の賃金に差異はないと思われる。